

AI搭載ロボアドバイザーによるおまかせ資産運用 THEO [テオ] のお金のデザイン

「お金のデザイン研究所」設立のお知らせ AIやビッグデータなど最新テクノロジーを資産 運用技術へ応用

資産運用研究の第一人者、首都大学東京特任教授・京都大学客員教授の加藤康之を所長に迎え
多様化する“人生100年時代”に向けた先進的な資産運用技術の研究を行う

独自のアルゴリズムに基づき、一人ひとりに最適な資産運用サービスを低コストで提供する株式会社お金のデザイン（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 仁、以下：お金のデザイン）は、資産運用技術の研究を行う「お金のデザイン研究所」を2019年6月1日に設立しました。所長には、首都大学東京特任教授、京都大学客員教授であり、当社アカデミック・アドバイザーの加藤康之が就任します。

お金のデザインは、これまでも大学などの機関と資産運用に関する研究を行ってきました。2017年6月には、京都大学経営管理大学院と人工知能・機械学習の分野で研究を開始し、2018年5月にロボアドバイザーTHEOに「AIアシスト機能」を搭載しています。

このたび設立した「お金のデザイン研究所」では、中立的立場から柔軟性・透明性・効率性のある資産運用技術の研究を進め、金融業界とアカデミアとの連携を強化していきます。将来の不安に備えた「貯蓄」から「投資」への動きを、より一人ひとりに合った形で促進するという社会的ニーズに応えるため、先鋭的な資産運用技術の研究を進めてまいります。

多様化する「人生100年時代」を見据えた投資理論や資産運用ソリューションの開発、人工知能（AI）やビッグデータ等テクノロジーの活用、社会の持続性に貢献するESG投資の研究などにより、資産運用業界全体の発展に寄与していきます。

【研究所所長 プロフィール】



お金のデザイン アカデミック・アドバイザー/首都大学東京特任教授 京都大学客員教授 加藤 康之（かとう やすゆき）

東京工業大学大学院修士、京都大学博士。1980年4月（株）野村総合研究所入社。海外拠点を経て同社システムサイエンス部長、野村証券（株）金融工学研究センター長などを歴任後、野村証券（株）執行役。2011年4月から京都大学大学院経営管理研究部教授、2019年4月から現職。他に年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）経営委員、国民年金基金連合会資産運用委員会委員、証券アナリストジャーナル編集委員、日本ERM学会会長などを兼任。

著書「初心者のための資産運用入門」「金融工学事典」東洋経済新報社、「退職後の資産運用 - 超高齢化時代のリタイアメント・マネジメント入門」「ESG 投資の研究 - 理論と実践の最前線」一灯舎、「The Emergence of ETFs in Asia-Pacific」Springerなど

【コメント】

「このたび、お金のデザイン研究所を設立しました。これまでの経験を生かし、内外の大学・研究機関とも連携しながら、ロボアドバイザーに必要な先端的テクノロジーの研究や、人生100年時代で多様化する個人の資産運用ソリューションを開発していきます。

成熟化が一段と進む令和の時代を迎え、少子高齢化や経済格差の拡大などさまざまな社会的課題があるなか、ますます重要性を増す資産運用研究を通して、皆さまのお役に立てるよう努力していきたいと考えています。」

今後もより多くの方の資産運用をサポートしご満足いただけるよう、サービスの向上と提供に努めてまいります。

■ THEOについて

THEO のコンセプトは、「投資は、ロボが。人生は、あなたが。」毎日を全力で生きるすべての人たちをサポートする、AI搭載ロボアドバイザーによる投資一任運用サービスです。年齢や現在の金融資産額などの情報から、ロボアドバイザーが、一人ひとりに合った、最大30種類以上のETFからなるポートフォリオを提案します。最低投資金額は1万円、手続きはスマホだけで完了し、運用報酬も1%（年率・税別）と低コストではじめられる、新しい資産運用のカタチです。20代から40代を中心に、運用者は7万4千人を突破しました。（2019年5月31日現在）



■ THEOの名前の由来について

画家ヴィンセント・ヴァン・ゴッホの弟、テオドール・ヴァン・ゴッホから名付けられました。生前、絵が一枚しか売れなかったゴッホを経済的に支え、励まし続けたのがテオでした。

「お金」を通じて、自分らしい生き方をサポートしたテオ。テクノロジーによって、わかりづらい金融の仕組みを解放し、お金を将来の不安から希望に変えることで、自分らしく挑戦していける人を応援したい。私たちも、テクノロジーを駆使することで、すべての人にとっての「テオ」になれないか。そんな想いからTHEOと名付けられました。

■ 株式会社お金のデザインについて

お金のデザインのミッションは「人とお金の新しい関係を創る」です。

日本初の独自開発のロボアドバイザーによる投資一任運用サービス「THEO[テオ]」をはじめとして、iDeCoサービス「MYDC」、機関投資家向けチャネル「ARCA GLOBAL ASSET」、ポイント投資プラットフォームなどのサービスを展開しています。テクノロジーを活用することで、金融・投資の深い知識がなくても、誰もが、当たり前のように資産運用ができる世の中を目指しています。

■ 会社概要

名称	株式会社お金のデザイン（Money Design Co., Ltd.）
----	-------------------------------------

	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2796号 確定拠出年金運営管理機関 登録番号775
加入協会	一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル1階
代表者	代表取締役社長 中村 仁
事業内容	投資運用業、投資助言・代理業、第一種金融商品取引業、確定拠出年金運営管理業
URL	https://www.money-design.com/
設立年月日	2013年8月1日
資本金 / 資本準備金	100,000,000円/12,023,924,861円（2019年3月22日現在）

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

株式会社お金のデザイン 担当：建井

Email : press@money-design.com

<投資一任運用サービスTHEOに係る手数料等及びリスクについて>

投資一任運用サービスTHEO（以下「THEO」）は、当社との投資一任契約により提供されます。お客様には、当社にTHEO専用の証券口座を開設いただきます。

投資一任契約に関する投資一任運用報酬は、預かり資産の円貨換算時価残高に対して最大1.08%（税込・年率）を乗じた金額となります。組入ETFの売買手数料及び取引所手数料並びに為替手数料等の費用は、当社が負担いたします。なお、THEO専用の証券口座の管理手数料は無料です。

THEOでは、主に外国籍の上場投資信託（ETF）を組み入れます。組入ETFの価格変動リスク及び信用リスクのほか、為替リスク、取扱金融機関に係るリスク等があります。組入ETFの市場価格の下落、為替変動等により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ご契約にあたっては、契約締結前交付書面や契約約款等を十分にお読みください。